

第19回「菅官房長官のこと」

昨年2月、衆議院会館にて、菅官房長官（以下「菅様」）とお会いしました。大学の1年先輩で、菅様は空手部、私は合気道部でした。私と同期の空手部の友人が菅様を紹介してくれ、それ以降目をかけてくださいました。（ただし、大学卒業後はお会いしたことはありません。）

そのご縁で、菅事務所の秘書にお会いしたい旨を連絡したところ、即、返答があり、面談することができました。短時間でしたが、お願いしたことは、①依田勉三翁をNHK大河ドラマへの推薦依頼、②伊豆地区への来訪依頼です。菅様とは、松崎町の人口、温泉の泉質、大学同期の消息等の会話をしました。

それから菅様から、「町長の携帯教えて」と言われ、ご自分のガラケー携帯から私の携帯へと電話をいただき、「それ登録しておいて、何かあったら力になる!!」と仰っていただきました。

私は、他力本願は嫌いですが、イザというときは菅様をお願いしたいと思います。そのイザというときは、大災害時です。必ず松崎町を強力にご支援していただけると、確信をしております。

菅様の記者会見での歩き方、礼の作法は、学生時代と変わりません。そのぶれない姿勢に、私は共鳴しております。

「縁は異なるもの味なもの」、「袖触れ合うも他生の縁」と申します。今後も、出会いを大切にしていきたいと思っております。